

沖縄で

村上光子

我家の上空を通過する飛行機を見る度に辺野古ですわりこみを続けるおじい、おばあが想い浮び「沖縄に行かねば」と思うのだがなかなか動けぬ。

それでも何度か行くことが出来たので見聞きしてきたことを少し記す。

水中写真家 牧志治さんの話

大浦湾は、辺野古岳、多野岳、久志岳、一ツ岳というやんばると変わらぬまだ開発されていない原生林の四つの山からまたされ豊富な植物プランクトンを運ぶ辺野古川、美謝川、江間川、大浦川という4本の川の流れによって、古代から変わらぬ遺伝子をもつ種と、進化した種が混在し5800種もの生き物が棲む宝の海であり、多くの絶滅危惧種が生息するが大浦湾にのみ生息する種が多数ある。活断層や60~80mの落ち込みによって大波が生じ、その自然また生命を恵くんでいる。

山・川・海ともに古い種もそのまま残せる環境があり、調査をすればもっと多くの種が見つかるだろうとのこと。

閉ざされる湾には、7種類の海草が生息し、ウミガニ、青ウミガメ、海草しか食べないじゅごんの藻場が失われ、海辺は資材ヤードと化す。護岸のために6月~9月に産卵にくるアカウミガメが産めず、帰るに帰れず産める場所をさがしていたという。そしておいしい海草の浜が日常的に米軍の水陸両用車の訓練で荒らされている。「辺野古の一番の弱者は生き物たちだ」と言われた。

調査報道ジャーナリスト、ジョン・ミッチェルさんの話

高速道路から見えるサッカー場にダイオキシン入りのドラム缶108本が埋められていたことは、辺野古バスに乗せてもらう度に聞く。その浄化費用に9億7900万円の税金がかかったそうだ。米軍は1セントも払っていない。

緊急に待ったなしの対応を要する最悪の汚染は、残留性有機フッ素化合物PFOS(ピーホス)を含む泡消火剤が肝臓や甲状腺にダメージを与え、胎児に影響し発がん性のある強い毒性を持つDFOS、フッ素化合物PFOA(ピーホア)を含む化合物の残留性有毒物質だという。プールに一滴たらした状態が1pptであるのに、勧告の70pptをはるかに超える濃度で基地の排水路から流出し、川へ上水システムへと著しい汚染が続いており、

普天間周辺の湧水や地下水が重度に汚染されている。

2008年には嘉手納基地内の井戸で1870pptを検出し、横田基地でも何十年にも渡り流失し、最近3161リットルの流出があり、多摩川で440pptのPFOS汚染があった。2016年の沖縄企業局の調査では、1300pptレベルを検出。

基地内の軍人、地域住民、上水システムを利用する7自治体70万人、旅行者に影響を与え続けている。

2016年北谷浄水場ではPFOSPTAS対処のため、活性炭フィルター交換に1億7000万円かかったため、沖縄防衛局に資金要求したところ、「基地が汚染源という証拠がない」と断られ、県が支払った。海兵隊は自治体からの協議の申し入れを拒否したそうだ。

韓国などは米軍に対処を申し入れているそうだが、日本に対しては「政治的に注意を要する事故は日本側当局に通報しないように」と命令されていて、日本政府は説明をもとめることも調査もなにもしていない。

米軍は70年以上に渡り、放射性物質、劣化ウラン、PCB、ヒ素などあらゆる有害物質で日本、特に沖縄を汚染し、埋め立て、海中投棄など隠蔽してきた。

衝撃的な事実はベトナム戦争で雨のように落とされた猛毒物質枯葉剤エージェント・オレンジが沖縄にも使われていたというのだ。高江のやんばるを通る道路脇、泡瀬通信施設、北部訓練場、キャンプシュワブ等々で、基地内、周辺への除草剤として散布されていたというのだ。無防備で散布した米軍兵士、日本の基地従業員そして地域住民の健康を害していた。が、障害の事実は知らされていない。

また基地周辺のマングースやハブに高濃度のPCB、DDTが、蓄積されているそうだ。島々は空対地攻撃訓練場にされていて、1995年の射爆演習場で劣化ウラン弾が島全体を汚染し、今も大気中に飛散しているそうだ。

沖縄は空からの落下、騒音、地上での事件・事故に加え、地中、海中からの汚染で生活、生命を脅かされ続ける。辺野古基地が出来れば、近隣海域へも汚染が拡がりサンゴ礁は死滅へと向かうだろう。

おじい、おばあの話

行く度に「沖縄には民主主義がない」と聞く。そして「憲法番外地」「安保条約のゴミ溜」だと。

辺野古バスでいつも同乗するおじいちは「1850年代諸外国と外交条約を結び交易していた琉球王国が、1879年、日本に併合植民地化され、1945年捨て石にされ、鉄の暴風で焦土となり、米国に占領植民地とされ、

1972年からは日本と米国の軍事占領が続く」と抑圧の歴史を延々と語った。

「0.6%の沖縄に70.4%の基地」があるのは本土から押し付けられたからだ。本土に持って帰って」と本土からの人間に熱心に訴え続けるおばあがいる。翁長知事が健在だった頃、次期知事選のためにキャッチフレーズを考えている女性がいた。「物乞いの沖縄か自立の沖縄か」と。玉城知事が勝ち、自立の沖縄を選んだのだ。

路線バスに乗ると基地また基地の連続だが、基地がない方が発展することを実感するのは国際通りだ。外国の観光客でいつも賑わっていて、まっすぐに歩けない程だ。聞こえてくるのはほとんど中国語。中国を仮想敵国にして、琉球列島を軍事要塞化する日本政府に暗たんとするが、それに群がる地域の基地マフィアに負けないでと思う。

宜野湾市役所で

1月19日、県民投票の実施を求めてハンガーストライキをしている元山さんの応援に行った。20代の若者が中心になって署名を集めていた。県外もあり、私も署名出来、通行する車にプラカードを掲げてアピールしてきた。

次々とする市民の人集りがあり、手を振って通る車が多く、投票権を奪われた沖縄の人たちの無念が伝わってきた。結果、「どちらでもない」が加わり苦渋の三択になった。朝日新聞の川柳欄に「どちらでもないで日本はこうなった」というのが載っていたが……。

普天間市役所は、普天間基地と道ひとつ隔ててある。アピール中、F35戦闘機が続けて3機通過して行った。すさまじい轟音と地響きで、何とも言えない気分の悪い振動が頭の前から足の先まで響いた。いつもとは違い90度曲がって上空を飛んだそう。「みせしめだ、嫌がらせだ」と沖縄の人が怒っていた。

ホテルのテレビで嘉手納基地近くに住む、眠ることで育つ赤ちゃんが、夜遅くまで絶えることなく飛ぶ戦闘機のため不眠症だと報じていた。

日本はF35Aを105機、F35Bを42機購入するという。辺野古基地にオスプレイ100機を配備計画だという。世界でオスプレイを購入する国は日本のみで、米陸軍ですらその安全性、軍用機としての有効性への疑問から購入の予定はないそうだ。

2月3日、三重県の陸上自衛隊明野駐屯地にオスプレイ3機が日米共同訓練の期間中、整備で離着陸すると新聞に載っていた。いずれ、愛知の上空も。

こんどは、3月初めに行く予定。せめて、県民投票の結果、埋め立て工事がとまっていることを願う。

辺野古基地建設受注企業へ

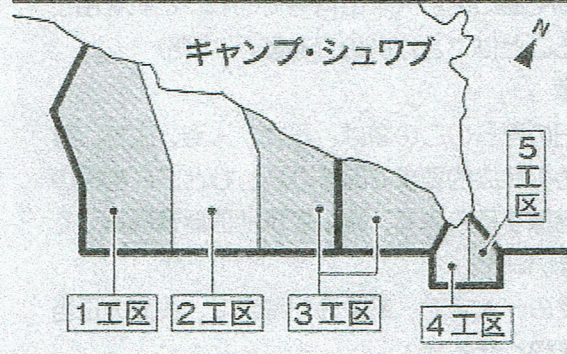
抗機の手紙を送りましょう

新基地埋め立て順序変更、辺野古海域から開始 4JVと1企業計 283 億円契約

辺野古埋め立て工事の契約金額と受注企業

1工区	126億6087万7800円	大成建設・五洋建設・國場組JV
2工区	73億7694万円	安藤・間・大豊建設・大栄建設JV
3工区	72億1310万4千円	大林組・東洋建設・屋部土建JV
4工区	5億9940万円	丸政工務店
5工区	5億1094万8千円	北勝建設・東開発JV
合計金額	283億6126万9800円	

辺野古海域の埋め立て計画の工区



東京都江東区 青海二丁目 4 番 24 号

青海フロンティアビル 12、13 階

東洋建設株式会社 代表取締役社長 武澤恭司様

T905...0014

沖縄県名護市港 2 丁目 6 番 5 号

株式会社屋部土建

代表取締役社長 津波達也様

T108-8502

東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティB 棟

株式会社大林組 本社

代表取締役社長 蓮輪賢治様